

# Osaka Shin-Ai Megumikai

大阪信愛女学院短期大学同窓会 〒536-8585 大阪市城東区古市2-7-30 TEL 06-6939-4391



## ごあいさつ めぐみ会会長 楠本 光子（家政科4期生）

めぐみ会会員の皆様、お元気ですか。

昨年秋、新役員でスタートし、この間、ホームページのリニューアル、今後の活動の在り方等、慣れない作業の取り組みに、あっという間の一年でした。

また、記憶に新しいこの4月には、熊本近辺に思いもよらない大地震が発生しました。熊本周辺に在住の卒業生の皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

6月に姉妹校訪問を兼ねて、久留米信愛、熊本信愛に、めぐみ会からお見舞いにお伺いいたしました。幸い両学院には大きな被害がなかったようで安堵いたしました。この機会に同窓会の役員の方々ともお会いすることが出来、信愛卒業生という絆でつながっていることを強く感じました。

今後も和歌山信愛を含め、同窓会の交流が持てるよう願っております。

大阪信愛短大も創設から60年、この間学科も大きく変わりました。（5ページ参照）

会員の皆様、楓祭には、是非学院に足を運んでいただき、後輩の活躍をご覧いただきたいと思います。お待ちいたしております。



## ご挨拶 めぐみ会顧問 高坂 祐夫（短期大学学長）

皆様にはお変わりなくお過ごしでしょうかお伺い致します。日頃は何かと本学にご尽力をたまわり心から感謝申し上げます。

28年度、子ども教育学科90名、看護学科87名の入学者を迎え、両学科ともにキャンパスは学生たちの熱気で満ちあふれています。18歳人口の激減と京都、大阪に5校の看護系大学が新設されたことが今後の懸念材料ですが、社会に有用な人材を送り出すことが使命であるという信念のもとに教職員一丸となって教育に邁進しています。めぐみ会々員の皆様方には益々のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、先日（2016年7月6日）本学の公開講座が学院講堂で開催され、第三回長塚節短編小説部門大賞を受賞された作家安住洋子先生（さいたま市在住）にご講演を頂きました。多くの著作をされ、また「小説新潮」や「波」などに連載掲載をされるなどお忙しい中、ご自分の作家へ至る履歴をご主人様の転勤先アメリカでの生活の様子などを交えて、後輩学生たちに語りかけて頂きました。先生のお人柄がにじみ出る温かさが伝わる素晴らしいご講演でした。

安住（旧姓重本）洋子先生は、1979年（昭和54年）本学家政学科のご卒業です。田中順子教授が担任をされていたご縁で今回の講師をお引き受け戴けたのです。当日は同窓生の大阪在住、内田（旧姓福田）知子様、竹山（西口）比麻子様、中井（三上）智代恵様も駆けつけて下さいました。ご講演後、安住先生、田中教授とお友達を交え、お茶を戴きながら学生時代の思い出話に花が咲き、また、日常の生活に触れられた話題からは創作活動の厳しさの一面が垣間見えた思いがしました。

今回の講演会は、本学の現代と女性委員会の主催、公開講座委員会が共催する形で実施されましたが、講師がめぐみ会の会員であることの把握ができていず、会員の方々への広報の手抜かりがあったことを当会の顧問としてお詫び申し上げますと共に今後の教訓といたします。これからも様々な機会を利用して会員のご活躍をお伝えしたいと思っています。



日時：2016年10月30日（日）  
場所：大阪信愛女学院短期大学 城東キャンパス  
時間：午前10時～午後3時

## 久留米信愛女学院・熊本信愛女学院をお訪ねしました

去る6月14日、15日の両日、久留米信愛女学院と熊本信愛女学院に震災のお見舞いに伺いました。

両校ともに、理事長様、校長先生が出迎えてくださり、恐縮の極みでした。

久留米の横田理事長様は会議を控えられたお忙しい身にも関わらず、学内をくまなく案内してくださいました。学内に漂う空気感はとてもゆったりとして、そこかしこに懐かしさと優しさを覚える空間でした。出会った先生方や事務職員の方々もとても温かく迎えてくださいました。幼稚園の園長先生は大阪信愛卒業生のSr.平田マルエ（保2期生）さん。また嬉しいことに、久留米信愛女学院短期大学の同窓会会長・高柳恭子さんにもお目にかかることが出来ました。これを機会に交流ができれば嬉しいですね。



左・Sr. 横田理事長 右・Sr. 平田園長

翌日には、現在熊本在住の元学長Sr. 村田初子（レア）先生に案内をしていただき、熊本信愛女学院をお訪ねし、山田校長先生から震災の被害状況を聞かせていただきました。「旧体育館はかなりの被害を受けて現在も使用できません。地域によっては、全壊や半壊で自宅に戻れず、避難所生活状態の生徒や職員もいます。幸いにも学校関係者は全員無事で、校舎や寮等は被害も最小限にとどまり、5月6日より授業も再開しました」とのことでした。震災直後は各教室を被災者のために開放されていた由、筆舌に尽くし難いことだったと推察いたします。めぐみ会からのお見舞いは微々たるものですが、お役に立てていただければ幸いです。



後列 多湖 楠本 森田  
前列 Sr. 松尾理事長 Sr. 村田 山田校長

熊本では偶然の出会いもありました。なんと！私たちが訪問させていただいた時は、Sr. 片岡管区長様と熊本信愛女学院高校同窓会の前会長・宮崎さん、現会長・米岡さんたち役員の方々がお集まりになられる日だったのです。神のはからいともいえる出来事でした。

短い日程でしたが、中身の濃い有意義な訪問だったと私たちは自負しています。出会った全ての方々に感謝！（詳細と他の写真はHPでご覧ください）

## 107歳でお元気です



107歳のお誕生日に  
2016年1月

家政科創設当初より和裁を担当していただいていた森重定子先生を4月25日に訪問いたしました。

現在施設での生活ですが、今年1月に107歳を迎えられました。

耳は少し遠くなられ、学院での記憶も朧げになっておられますが、特に病気もなく自力でカートを押して歩行されています。

大好物はチョコレートとか、先生は私たちの人生の目標です。いつまでもお健やかに過ごされることを願っています。



森重先生にはお世話になりました  
家政科4期生・6期生

## 新役員紹介



左から 前列：森田 楠本 増田 後列：多湖 川島

副会長 多湖 敬子（家6期・保11期）

「あなたは信愛短大に二度お世話になったのだから、ご奉仕なさい」との亡き夫の言葉で30余年前にもお役を…。今回、二度目。「同窓会の役割とは？」を再び模索中です。

副会長 増田 千春（初9期）

2014年の夏、保育士資格取得特別講座を受講し、ここで学び得たことや仲間との出逢いは私の大きな財産となりました。感謝の気持ちをめぐみ会のお役を通して表したいと思います。

会 計 森田 正子（家6期）

この度、母校や友への懐かしさで役員を引き受けさせていただきました。世代の違いを越え、めぐみ会の皆様と共に様々な想いをお便りや集いの場で共有出来ればと願っています。

書 記 川島 裕子（保6期）

卒業して早や50年。ご縁を戴き「めぐみ会」のお世話をする事になりました。学院の資料室を見学させて頂き懐かしく、益々の発展を後輩の皆様と共に見守りたいと思います。

常任幹事として、竹内美代子（初17期）、福島有紀（家26期）、井内伸栄（生7期）の皆様には、めぐみ会の総務、データ管理等、多大なご協力をいただいております。



## 懐かしい先生方 お元気です！

### 信愛の今



めぐみ会の皆様、お変わりなくお過ごしでございましょうか。また、熊本地震で被災された皆様には心よりお見舞い申し上げ、一日も早い復興をお祈り致します。

学院はここ数年「変革・改革」を標榜し、その実行へと総力を挙げております。

130年の信愛の歴史を基盤に、変えるもの、変えてはいけないものの「評価」をしながら、創立者とその後継者の心を心として、国際的な視野に立って、21世紀を見据えた豊かな未来の創造に向かって日々努力しています。真に大切なことを見極め、その時、その場の必要に応え、よりよい社会の建

シスター 縄田 紳子 (理事長・学院長)

設に寄与する、心豊かな女性の学びの場として刷新していかなければなりません。

同窓会、後援会、教育会の皆様方に支えられてきた信愛です。今後も信愛をこよなく愛して下さっている皆様に助けられながら、着実な歩みが進められることと確信致しております。

今、学院では、小学校校舎が解体され、来年の竣工に向かって工事が進んでおります。活気あふれる教育活動が展開されることを願いながら、めぐみ会の皆様方の温かいご支援を重ねてお願い申し上げます。

皆様方お一人お一人の更なるご活躍とお幸せをお祈り致しております。

### 大阪信愛は私の宝庫



「長い廊下を歩かせてあげたい。」これが私の細やかな望みでした。開学2年目、保育科二年生と一年生、併せて60人足らずという小さな短大が私の初就職の場でした。教室、教授研究室、講師控室、応接室等必要な部屋は揃っていましたが、建物の中を少し歩けばそこは突き当り、私は学生が颯爽と歩ける廊下がほしかったのです。

花瓶や雑巾もなく、当然のことながら、陣容も調っていませんでした。私は教務課、学生課、事務など一手に引き受け、学校の中を走り回っていました。しかし、嬉しかったのは学生の担任ができたことで、あまり年齢も違わない学生との毎

シスター 村田 初子 (元 理事長・学長)

日は私にとって大きな喜びでした。学生達の悩みは現代のそれとは異なり、先生に叱られたと泣いてきたり、誰々が話してくれないとしょげかえったり、休みになっても家へ帰りがらなかったりで、私はカウンセラーのような日々を過ごしていました。バイエルの間違いが聞こえてきます。私は我慢が出来ず、3階のピアノセールの駆け上がり「そこシャープよ」と指摘したのも屡々でした。

大阪信愛を去って40余年。新米の私を支えてくださった先生方、未だに私の健康や動静を気遣ってくれる卒業生…

大阪信愛は生涯忘れることは出来ない私の宝庫です。

神に感謝！大阪信愛に感謝！

### 心に残る光景



ハチャトゥリアン作曲の「剣の舞」を耳にするとき、私はいつも懐かしく思い出す光景があります。1971年大阪万博が開催された翌年のこと、大阪地区で開かれた第一回全日本音楽教育研究会全国大会に本学が選ばれて器楽合奏に出演したときの練習光景です。

この研究会でマリimba演奏に出演した初等教育学科一期生は、夏休みを返上して短大学舎で合宿し、種谷睦子先生のご

シスター 宮崎 康江 (宗教学 教授)

指導のもと冷房設備のない301教室で、50台のマリimbaをつらねて汗水を流しながら「剣の舞」の曲の猛練習。当時、修道院は現在の高校校舎の位置にありましたが、修道院のお炊事場は短大の301教室の真下にあり、そこから流れ出る音が頭の上から聞こえてくる状態でした。学生たちの力強いパチさばきの音、勇壮なメロディーに、お炊事場で調理をしていたシスターが「つい浮かれて包丁を手にして踊りたくなる」と言って、皆を笑わせたことを懐かしく思い出します。古き良き時代の一コマでした。

### 2015年度 ご退職 お世話になった先生方

吉田 巽 先生 (子ども教育学科)

大江 夕子 先生 (看護学科)

佐竹 幸美 先生 (看護学科)

中尾 幹子 先生 (看護学科)

西沢 三代子 先生 (看護学科)

# 卒業生からのお便り

## 懐かしい思い出

私たち一回生は29名でスタートしました。安田（哲学）、前田（宗教学）、大園（仏語）神父様方の非常に穏やかで優しいお人柄のすばらしい講義を受ける事が出来、その後の私達の人生に大きな影響を与えていただきました。皆が一番苦勞したのは、ピアノのレッスンで優しくユーモアたっぷりのメルオー神父様や怖いレオニー先生の余りの厳しさに家出（寮）してしまった人や、音楽通論の難しさに休みを返上して勉強した事、体育実技では幼稚園教諭ならば出来なくてはと、鉄棒の前回りや逆上がり等初めての経験や保育実習ではマリア先生に怒られっぱなしだった事など、苦しい事は沢山思い出しましたがそれら一つひとつが又楽しい思い出となっ

石原 和（旧姓 小川）（保育科1期生 1961年卒業）

て残っています。皆の心の中に残っている悲しい出来事は寮の火事です。すべての物を失った寮生の悲しみは忘れられません。又卒業を前にして学長様から就職したら石にかじりついても3年は頑張り一期生として後輩のために基盤を築いて下さいとのお言葉にほとんどの人が3年以上勤めました。クラス会を70歳迄2年に一度行い、仁川の本部修道院や熊本に行かれたコンソラータ先生をお訪ねしたり、沖縄のクラスメートの案内で島内を巡ったり一般のバスツアーに参加したり卒業後も仲良く交流が続き、楽しい思い出を作る事が出来ました。今は亡き司教、神父、シスター、先生方を懐かしく思い出しました。

## 個性を大切に

昭和36年4月家政科が発足。1期生15名からの始まりでした。当時、女子が浪人する事はあまりなく国立、私立を失敗した人達の集まりだった様に思いますが皆それぞれ個性豊かで母校で教職に就いた人、そろばん塾を開いた人、茶道書道の教室を開いた人、公職についた人等と才能豊かな人が多かったと思います。

スール・セント・レア学長様（Sr.村田）のやさしく広いお心に包まれながら、のびのびと学生生活を楽しませて頂き

池田美智子（旧姓 竹内）（家政科1期生 1963年卒業）

ました。又、先生方の熱心な御指導の下、教職の免許証を取らせて頂きとても心丈夫な事でした。又、精神面でも一番大切な心の指針となる御教えを学び正しい方向に導かれて今日を迎えられた事は本当に幸せな事で信愛の家政科を卒業出来て良かったと思う日々です。

孫達も大学受験や就職の時期を迎えておりますが、必ずしも第一志望がベストではない。神様が用意して下さった場所がベストなのだと言い聞かせておりますが…。

## 信愛とわたし

声楽、ピアノ、リトミック、加えて夏休み返上に近いマリンバの特訓のお蔭で「G線上のアリア」と「剣の舞」がスッカリ体にしみ込んだ私。また人様よりもウンと大きな手をしているにもかかわらず、一向にピアノが上達せず学内セルでのレッスンだけでは単位不足になるため補講を考えてくださり、照りつける真夏の太陽の下、仁川の本部修道院を目指して歩いたことも懐かしく、招き入れられたアトリエのひんやりとした空気のお持ち良さを今でも覚えています。

初等教育学科1回生として入学し、楽しい学生生活を思い描いていたものの、想像を超える厳しいレッスンの毎日にへ

山野真実子（旧姓 中村）（初等教育学科1期生 1972年卒業）

とへとなっていました。丁度、在学中に万博が開催され、ヴァチカンデーで合唱したことも今では良い思い出となっています。

教えてくださった先生方の熱心さに応えていたかどうか定かではありませんが、その授業は短大であっても4年生を凌駕していたと感じています。今まで、あまり学生時代を思い返したことがなく、同窓会のご依頼に添えるかしらと躊躇しましたが、厳しくも優しく熱心に接して下さった先生方お一人お一人のお顔を今でもハッキリと思い出すことができる自分に驚いています。

## 看護師になって

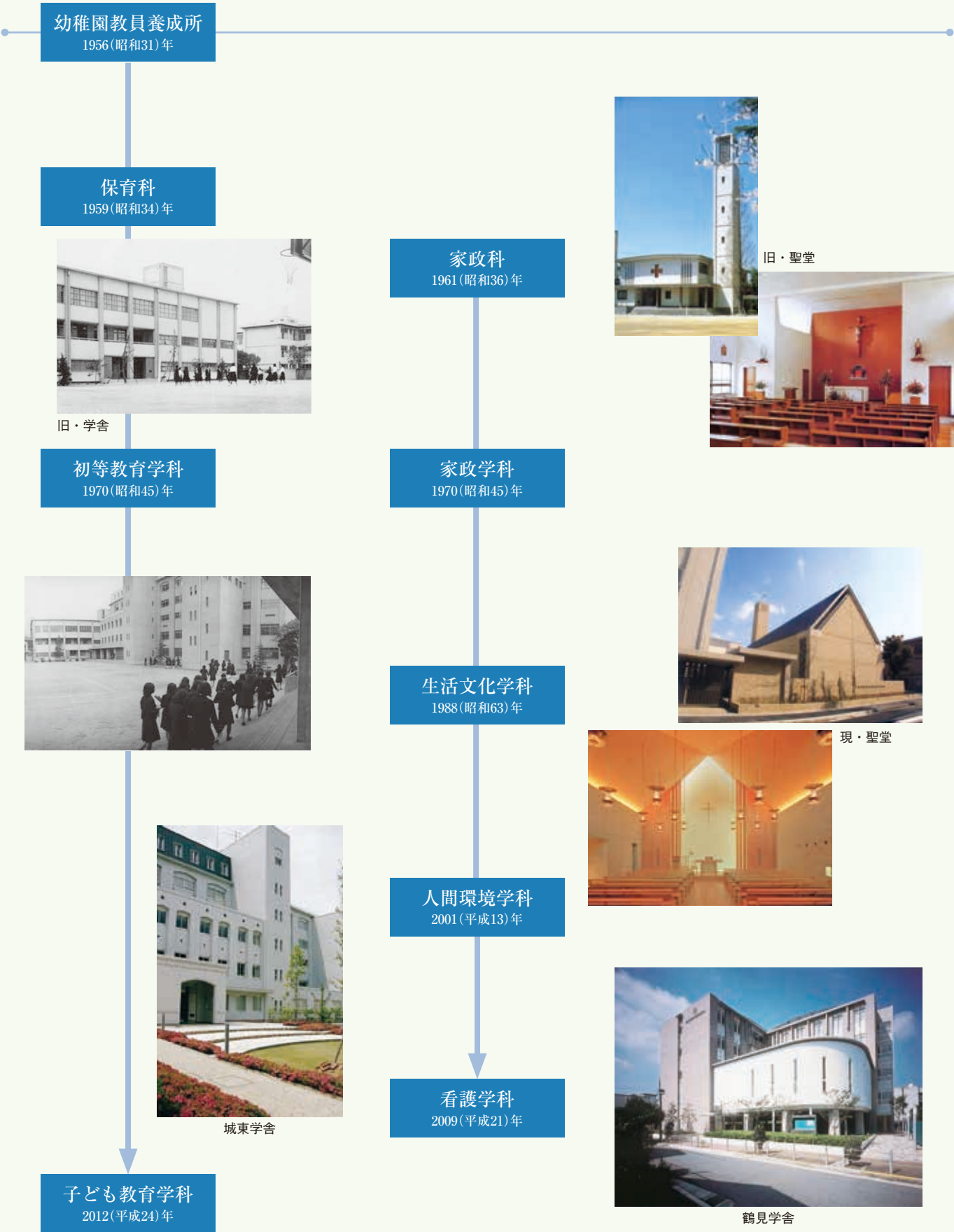
私は大阪信愛女学院短期大学看護学科を卒業し今年で3年目になりました。私が働いている病棟は泌尿器科、整形外科、循環器内科、呼吸器内科の4科混合病棟です。毎日大変で挫けそうになるときもありますが、患者様との関わりや「ありがとう。」という感謝の言葉を励みに頑張っています。

今年から1年目のお姉さんの存在としてフォローするプリ

杉本実津季（看護学科3期生 2014年卒業）

セプターをしています。もう入職して3年経ったのかと感じますが、自分も新人のころは右も左も分からず不安と緊張で毎日がむしゅらに仕事に行っていたのを覚えています。1年目が少しでも仕事に慣れることができるよう、また患者さんに安心して技術を実施できるようサポートしていきたいと思い新人教育に取り組んでいます。

# 学科の変遷





2016

# 楓祭

10月30日(日)

10時～15時

## Homecoming Day

毎年恒例の「楓祭」。今年も302教室をめぐみ会のために開放させていただきます。ミニミニ・クラス会やお友達との待ち合わせに、どうぞ、お気軽にお立ちよください。お茶のご用意もしています。

お子さま連れでも大丈夫！安心しておしゃべりしてください。小さなお子さまのために、絵本などもご用意してお待ちしています。

**めぐみ会では、今年から楓祭の日を homecoming day と名付けます！**



### 物品販売もいたします

役員手作りの「ポケットティッシュケース」「秘密のケンミンSHOW」で話題になった「レインボーラムネ」や「手焼きおかき」などその他、何かがあるか楽しみに！



## 講演会のお知らせ

講演：「子どもたちに温かい家庭を」

講師：川村 隆子さん（名古屋学院大学 現代社会学部 准教授）

日時：2017年1月25日（水）14：40～16：10（開場 14：20）

会場：大阪信愛女学院講堂

問合せ：06-6939-4391（代表） 入場無料、申込不要。

※川村隆子さんは本学（生活文化学科 1991年卒）の卒業生です。

## ホームページ リニューアルしました！！

リニューアルしたホームページ、皆さん、アクセスしていただけましたか？

ブログでは、お知らせやメッセージを随時更新しておりますので、是非ご覧ください。

○住所変更も簡単！！

会報が届いていない同窓生がいっぱいしゃればお知らせ願います。

○メッセージ募集中！！

お便りコーナー（会報・HP等）にて、掲載させていただきます。

[shinai-megumi.org](http://shinai-megumi.org)

信愛 めぐみ会

検索



携帯からでも  
簡単アクセス！！



## 資料室 見学できます！

学院本館1階に開設された「資料室」をご存じですか。

吉中裕先生、椎山雄一先生が地下室に眠っていた資料を、時間をかけて年代順に整理し、信愛132年の歴史を集約された貴重な資料です。

学院にお越しの折に是非見学してください。懐かしい時代が甦りますよ。

閉室の時は、本館事務室におたずねください。



### 【城東キャンパス（子ども教育学科）アクセス】

〒536-8585 大阪市城東区古市2-7-30 TEL.06-6939-4391

○地下鉄長堀鶴見緑地線「今福鶴見」①出口から北へ徒歩15分○地下鉄今里筋線「新森古市」①出口から南へ徒歩5分（京阪「関目」から地下鉄今里筋線「関目成育」は隣接）○近鉄「布施」から市バス86乗車、「緑一丁目中」下車○阪急京都線「上新庄」から市バス86乗車、「緑一丁目中」下車

### 【鶴見キャンパス（看護学科 専門教育学会）アクセス】

〒538-0053 大阪市鶴見区鶴見6-2-28 TEL.06-6180-1041

○地下鉄長堀鶴見緑地線「今福鶴見」(3)出口から徒歩10分○地下鉄今里筋線「新森古市」(1)出口から徒歩10分○近鉄「布施」から市バス86乗車、「鶴見6丁目」下車○阪急京都線「上新庄」から市バス86乗車、「鶴見6丁目」下車

両キャンパス共に、駐車場に限りがありますので、お車でのお越しはご遠慮ください。

## 編集後記

往年の卒業生には懐かしさを、近年の皆さまには歴史を感じ取っていただけましたでしょうか？懐かしい縄田先生、村田先生、宮崎先生、各科の1～3期生の方々からご寄稿をいただき、お陰さまで充実した誌面になりました。感謝申し上げます。魅力ある誌面のためには皆さまのご協力が必要です。同封の葉書にご意見ご感想などをお書きくださいますよう、よろしくお願いいたします。